

文化庁主催 国際シンポジウム



Axel Rüger
Director, Frick Collection



大橋 達也
東京国立博物館
経営企画室 ファンドレイジング担当



菅谷 富夫
国立新美術館長



Alisia Romanin
Executive Director of Development,
Arts Centre Melbourne



吉見 俊哉
國學院大學教授
モデレーター

文化芸術を
支えるフロンティア
ファンドレイジングが拓く
自律的・持続的な
運営モデルの構築に向けて

Date/Time
2026.11/19 thu
14:00-17:00 Open 13:30

Venue ———— 東京国立博物館 平成館大講堂

お申込はこちらから



<https://forms.cloud.microsoft/r/KX6enGh5d>

【申込期日】

11/12(木) 12:00

※定員に余裕がある場合は、
期日以降も申込を受け付けます

主催者メッセージ

近年、文化施設や文化芸術団体においては、寄附や協賛などを通じた資金調達（ファンドレイジング）への関心が高まっています。文化芸術活動を継続・発展させるためには、多様な財源の確保と、それを支える人材の育成やネットワークの形成が重要です。一方で、多くの文化施設や文化芸術団体では、資金調達の必要性を認識しながらも、ノウハウやネットワーク、専門人材が十分ではないという課題を抱えています。

こうした動向を踏まえ、文化庁及び文化芸術分野への寄附促進を支援するMyriad USAはシンポジウム「文化芸術を支えるフロンティア～ファンドレイジングが拓く自律的・持続的な運営モデルの構築に向けて～」を開催します。

本シンポジウムでは、文化芸術分野のファンドレイジングに豊富な知見を有する国内外の専門家をお招きし、寄附や協賛、会員制度、国際的なフィランソロピーなど、多様な支援の実践事例や知見を共有するとともに、文化芸術活動の自律性と持続可能性の向上に向けた方策や、文化芸術を支える新たな支援の循環とパートナーシップの可能性について議論を深めます。

タイムテーブル（予定）

13:30 開場

14:00 開会

開会挨拶

基調講演1:Axel Ruger氏

事例紹介1:大橋 達也氏

事例紹介2:菅谷 富夫氏

事例紹介3:Alisia Romanin氏

休憩

Myriad USA紹介

パネルディスカッション・質疑応答

※モデレーター:吉見 俊哉氏

閉会挨拶

17:00 閉会

登壇者



Axel Ruger

Director, Frick Collection

ドイツ・ドルトムント出身。2019年から2024年までロンドンの王立美術館館長を務め、2025年3月よりニューヨークのフリック・コレクション館長に就任。欧州における文化機関のファンドレイジング黎明期から第一線で活躍し、欧州の主要な美術館・博物館のために米国を含む国際的な寄附・資金調達活動を主導してきた。文化機関の持続的な運営や資金調達戦略に関する世界的な知見を有する。



大橋 達也

東京国立博物館 経営企画室 ファンドレイジング担当

新潟県出身。株式会社ADKマーケティング・ソリューションズにて長年にわたり広告ビジネスに携わった後、2024年に東京国立博物館へ着任。現在は、ファンドレイジングを中心とした経営企画業務を担当している。准認定ファンドレイザー（日本ファンドレイジング協会）に加え、中小企業診断士、AFP（日本FP協会認定）などの資格を有し、広告、経営、財務に関する幅広い知見を基にファンドレイジングに取り組んでいる。



Myriad USAは、グローバルな慈善活動のための全米有数のリソース提供機関であり、個人、家族、企業、財団が世界規模で寄付を行うにあたって、文化、法律、税制、規制上の複雑な手続きを円滑に進められるよう支援しています。米国の公的慈善団体（Public Charity）である Myriad USAは、世界中の非営利団体の財政スポンサー（Fiscal Sponsor）としても機能し、それらの団体がアメリカの寄付者から税控除対象となる寄付を受け取れるようにしています。2025年には、Myriad USAを通して、世界103カ国の1,075の団体に対して過去最高となる総額1億9,500万ドルの助成金が提供されました。芸術と文化は、Myriad USAのグローバルな取り組みにおいて重要な位置を占めています。弊財団は、ゴッホ美術館、アムステルダム国立美術館、西オーストラリア博物館、そして東京国立博物館など世界中の多くの美術館・文化機関と提携しており、世界の芸術および文化遺産を保護、そして広く共有しているこれらの機関を、米国からの寄付を通じて支援する手助けをしています。

<https://myriadusa.org/>



画像提供：国立新美術館

菅谷 富夫

国立新美術館長

千葉県出身。財団法人滋賀県陶芸の森学芸員、大阪市立近代美術館建設準備室学芸員、大阪中之島美術館館長などを経て、2026年より国立新美術館館長に就任。大阪中之島美術館にて、民間の資金やノウハウを活用するPFIコンセッション方式による美術館運営を実践してきたなど、文化施設の新たな運営手法に関する豊富な知見と実績を有する。

モデレーター



吉見 俊哉

國學院大學教授

社会学者。1957年、東京生まれ。國學院大学観光まちづくり学部教授、東京大学名誉教授。上演論的アプローチから都市論、メディア論を展開、日本のカルチュラル・スタディーズで中心的な役割を果たしてきた。最新の著書は、『自己との対話 ―社会学者、じぶんのAIと戦う』（集英社新書）。



Alisia Romanin

Executive Director of Development, Arts Centre Melbourne

オーストラリア・メルボルン出身。2015年から2024年までラ・トロープ大学に9年間勤務し、2億豪ドル規模の資金調達キャンペーンの戦略・実務を統括。現在はアーツ・センター・メルボルンの開発担当エグゼクティブ・ディレクターを務める。大学、外交、企業、政府の各分野において、フィランソロピー、パートナーシップ構築、関係者との連携に幅広い経験を有する。

【お問合せ】

事務局（運営委託）：PwC コンサルティング合同会社
E-mail: jp_cons_ps_contentsteam@pwc.com

【会場】

東京国立博物館 平成館大講堂
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9